

美浜3号機

再稼働請願を特別委付託

町議会 31日、町の住民説明会

美浜町議会は十九日、運転開始四十年超に
なる関西電力美浜原発3号機の再稼働を求め
る請願2件を「継続審査」とした。町議会原
子力発電所特別委員会に付託し、次に開かれ
る町議会で採択の可否を議決する。採択され
れば、町議会としての同意とみなす見通し。

(高野正憲)

再稼働の請願を町議
会に提出した。同日、
町議会特別委員会に
付託された。町議
会としての同意と
みなす見通し。



美浜3号機は、九月に再
稼働に向けた安全対策工事
が完了。関電は来年一月に
再稼働する当面の工程を示
して、再稼働に必要な
県や町の同意を得られるか
が焦点となっている。

請願は、町区長会や若狭
美浜観光協会、わかさ東商
工会など町内六団体の代表
者が提出したものと、県原
子力平和利用協議会美浜支
部長が提出したもの。

町内六団体代表者の請願
は、美浜3号機の再稼働と
安全運転は必須として「配
慮した議会運営」を求め
た。原平協美浜支部長の請
願は「安全が担保された時
点での再稼働を速やかに判
断すること」を要望した。

戸嶋秀樹町長は議会の冒
頭で、十六日に資源エネル
ギー庁の担当者から再稼働
への協力要請があったと説

明して、「議会としての判
断も賜りたく考えている」
と議論を求めた。また、美
浜3号機に関する町主催の
住民説明会を三十一日に開
くことも明かした。町生涯
学習センターなびあすで午
後一時半から、資源エネル
ギー庁や関電などの担当者
を招いて、再稼働について
の説明を受ける。

竹仲良広議長は取材に
「議会運営委員会の中で、
一日で決めてしまつのは軽
々だ」という意見があった
と説明。「請願が採択され
れば、議会としての同意。
正式に言葉で表明するつも
りだ」との意向を示した。

この請願を巡り、再稼働
に反対する市民団体のメン
バーや地元住民ら約五十人
は町役場前で不採択を訴
え、議会も傍聴した。

主催した団体「老朽原発
うごかすな！実行委員会」
の木原壮林さん(モトノ京都
市)は「先延ばしになった
のは良いが、不採択として
くれないのでは意味がない。
議会には、これを機に老朽
原発の危険性などを考え直
してほしい」と話した。

町主催の住民説明会の参
加は町民限定で、先着三百
人。申し込みは町エネルギー
政策課宛てにメールやは
がき、FAXで。住所、氏名、
電話番号を記入する。受け
付けは二十七日午後五時ま
で。町エネルギー政策課
0770(32)6716

大飯3号機 配管交換へ

傷見つかり今の定検で

定期検査中の関西電力大
飯原発3号機(おおい町)
で蒸気発生器周辺の配管一
カ所に傷が見つかった問題
で、関電は十九日、いった
ん運転を再開し次の定期検
査で配管を交換するとして
いた方針を撤回し、現在の
定検で交換すると明らかに
した。今月下旬から配管の

切断作業などを始める。運
転再開は未定。

同日の原子力規制委員会
の会合で関電が報告した。
傷は放射性物質を含む一次
冷却水の管から分岐した部
分で見つかり、管の厚さ一
四ミリの対し、内側から深さ
四・六ミリの傷があった。関電はこれ
まで、次の検査まで十三方

月運転しても問題はないと
説明していたが、大飯原発
と同じ加圧水型軽水炉では
前例のないトラブルで、規
制委が安全性や原因の確認
を求めている。大飯4号機
(同)が十一月三日に定期検
査に入ると関電で運転中の
原発は十二月下旬までゼロ
になる見通し。(今井智文)